キャラクター名
天領 悠真（てんりょう・はるま）

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス バロール	ワークス	UGN支部長C	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17	性別	女
覚醒	探求	衝動	解放	初期侵食率	45 %
出自	天涯孤独	経験	秘密	邂逅	部下

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	2	0	0			2
精神	4	1	0			5
社会	1	0	0			1

HP	27
行動値	9
(非装備時)	9
戦闘移動	14
全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	2		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識：	2		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
デモンズシード	
ストレンジフェイズ	
リーダーズマーク	
コネ：UGN幹部	
コネ：情報屋	
コネ：要人への貸し	
パトロン	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
守護者	P	N		
霧谷雄吾	P 信頼	N 無関心		
N市支部の仲間達	P 連帯感	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P： 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
魔王の時間	1	8	セットアップ	至近	自身	自動	100%	
効果： ラウンド中、「1ラウンドに1回」のバロールエフェクトを2回使える。シナリオ1回								
紫:炎陣	1	2+1	オート	至近	自身	自動		
効果： カバーリング。								
暗黒螺旋	6	3	オート	至近	自身	自動		
効果： 白兵攻撃ガード時。攻撃してきた相手に[lv×5]のHPダメージ。ラウンド1回								
黒：鏡の盾	4	8+2	オート			自動	100%	
効果： HPダメージを受けたときに相手に返す。最大[lv×20]								
コンセ:バロール	2	2	メジャー		-			
効果： C値-[lv](下限7)								
死神の瞳	5	3	メジャー	視界	単体			
効果： 命中した対象の次のダメージ(lv+2)D。								
吸着	★							
効果：								
影絵芝居	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「まったく、こんなうら若き乙女をつかまえて『魔王』だなんて、失礼な話だよね？
　誤解しないで欲しいのだけど、私の素行が悪いとか、人格面からついたコードネームではないのだよ。
　単に、私の能力(エフェクト)に対する比喩表現さ」

17歳女子高生。身長が低く童顔で、黙っていればよく中学生に間違われる。芝居がかった言い回しと落ち着いた態度、支部長という役職を綽綽とこなす様は、高校生には見えない。
年齢の割に長くUGNに所属しており、支部長となってからも既に数年経っている。
出身、出自、家族構成など諸々謎が多い、謎の美少女（自称）。
UGNのデータベースでもそこそこなレベルで閲覧規制がかかっていたり、また本人も語りたがらない。
UGN上層部や政財界に謎のコネがあるらしく、財閥の令嬢だとか、大物政治家の隠し子とか、UNG上層部の愛人とか、色々な噂があったりなかったりする。
「乙女の秘密、というやつさ。
　なに、大層なものでは決してないよ。単に喧伝するには憚られる、というだけでね」

支部のメンバーのことは全員家族のように思っている。
特に霊群瑞穂には信頼を置いているようだ。
「とても優秀な部下だよ。いつも助かっている。
　本当は上司と部下というだけでなく、友人にもなりたいんだけれど。さて、瑞穂くんのほうがどう思っているのか。
　いや、直接申し出たことはないよ。年下の上司、というだけでもやりにくいだろうから、気を遣っているのさ、これでも」
と言いつつ、実は恥ずかしいだけなんだろうな、と周囲は温かく見守っている。

その戦闘スタイルは、自らは攻撃せず、敵味方問わず周囲の力を操り、利用して戦う。
バロールシンドロームの重力操作能力を主に用いているが、それだけでは説明のつかない能力を用いることもある。